～見る・学ぶ・働く・喜び合うことが大切～

楽しみながら知った、自然の尊さ、農業の大切さ。

8月19日は食育の日

親子でいっしょに農作業を体験し、楽しみながら食や農について学ぶ、JAグループ福岡あぐりの会の『親子でチャレンジ!ファミリー農園』。今年は3つのJA（筑前あさくら、にじ、福岡豊築）で実施。今回は去る8月8日にJAにじで開催された“ファミリー農園”（第2回目）の取り組みを取材しました。当日は19家族76名が、にじの耳納の里「ふれあい農園」に集合し、JA・農家の指導により、梨狩りやブドウ狩り、長ナスやミニトマトなどの収穫を行いました。また、農作業の後には、みんなでそば打ちにもチャレンジ!ふだんは経験できない農作業はもちろん、農家のみなさんとの交流もかなえた親子のみなさんをレポートします。

※今年の「あぐりの会 農業体験」の募集は終了しました。

レポート①

農業体験を通じて、安全・安心の食を実感。

福岡市早良区 小野瀬さんファミリー

「都会では土に親しむ機会が少ないですから、子どもたちに農業を体験させたかったんです」と、参加の動機を話してくれた小野瀬さんファミリー。梨とブドウがたわわに実る果樹園では、お父さんが6歳の拓真くんを抱き上げながら、果物の収穫をお手伝い。大きなブドウを手に拓真くんは笑顔いっぱい。小学三年生の凌真くんも、まぶしい陽射しのなか、ミニトマトや福岡県特産の長なすの収穫にも熱心に取り組んでいました。そして、農作業後のそば打ち体験には、二人の息子さんも大喜び。「みんなで作ったおそばが美味しかった!」と、拓真くんは元気に話してくれました。「食の安全に関心がありましたので、今回の体験は、自分たちが口にする野菜の生産現場を目のあたりにできて大きな収穫でした」と話す小野瀬さんファミリーでした。

レポート②

土のチカラ、農業のチカラを子どもたちに教えることができた。

福岡市東区 福留さんファミリー

「長なす採りや、梨やブドウ狩り、みんな楽しかった!もっと落花生のお世話をしたかったな」。元気いっぱいに話してくれたのは、福留さんファミリーの10歳になる美都子さん。祖母とお母さん、4人のお子さんの計6人で参加しました。今回の体験で一番印象に残ったのは、初体験だった果樹園でのブドウ狩り。「一房、一房、丹念に袋かけされたブドウを見たとき、生産者の方たちが丹精込めて作っていることが分かりました」と祖母の英子さん。「私たちは、土を知って、大地のチカラを知ることが大事だと思います。同時に農業のチカラを、子どもたちに教えていかなければならないと考えています」と笑顔で語ってくれたお母さんの喜久子さん。豊富な農産物に恵まれた福岡県だからこそ、これまで以上に地産地消に関心を持っていきたいとも話してくれました。

レポート③

人間の命を育む農業の大切さを農業体験を通じて実感してほしい。

JAにじ 代表理事組合長 足立 武敏

「人間の命の糧となっている農作物の生産現場を、より多くの皆さんに目にしていただきたい」。これが、ファミリー農園の開催目的です。現在、食の安全性や食育など、食に関する問題に多くの方たちが関心を寄せています。そうしたなか、JAグループ福岡では安全・安心の食をモットーに、生産者の一人ひとりが情熱と真心を込めて、福岡県ならではの多様な農作物を育てています。土を耕し、肥やし、種を蒔いて、太陽や水の恵みを受けて育った農作物が、食事の材料になり人は生かされている。ファミリー農園では農作業体験を通じて、そうした事実を消費者の皆さん、とりわけ将来を担う子どもたちに実感していただきたいと考えています。同時に、農業の大切さはもちろん、自然の大切さをあらためて実感してもらえればこれに勝る喜びはありません。

広告 企画・制作／毎日新聞西部本社広告局

地域に根ざした

食育コンクール2009募集

応募締切　平成21年11月13日（金）必着

☆家庭・学校・地域で実践する健全な食生活、食農教育、食の安全、安心等についての取り組みをどしどし応募してください。詳しくは、電話かホームページでどうぞ。

応募書類送付先　〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目10-12　JA福岡中央会
「福岡食育コンクール2009係」

TEL.092-711-3911/FAX.092-724-1218

ホームページ http://www.jagrf.org/　アグリふくおか　検索

JAグループ福岡